

## 中世②「室町時代」

## 室町時代の社会・経済・文化 A

🕒 7分

1. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

室町時代に民衆が力を持ち始め、農村にも都市にも自治の動きが見られた。武力で要求を通そうとするあ一揆も各地でおこった。15世紀後半に、將軍のあとつぎ争いなどから（い）の乱がおこると、戦乱は全国に広まり、その後、争いの絶えないう戦国時代となった。

室町時代には、武家の文化と公家の文化が融合した文化が生まれた。代表的な建築物として慈照寺のえ銀閣が有名である。お文学や絵画、芸能などの分野でも多くの人が活躍した。

(1) 下線あについて、次の問いに答えなさい。

- ① 土一揆をおこす中心となったのはだれか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 酒屋    イ 公家    ウ 土倉    エ 農民

[1]

- ② 正長の土一揆で要求にかかげられた徳政とはどのようなことか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

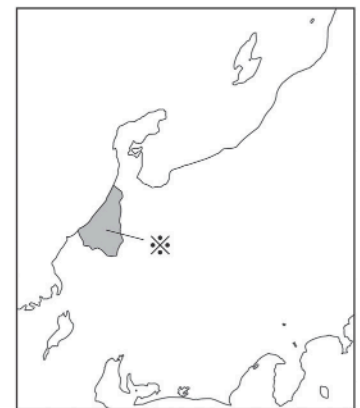
ア 借金を帳消しにすること。    イ 年貢を免除すること。

ウ 兵役を免除すること。    エ 関所の通行を自由にすること。

[2]

- ③ 1488年には、右の略地図中に※で示した地域で、浄土真宗の信者たちが一揆をおこした。この一揆がおこった旧国名を答えなさい。

[3]



(2) (い)にあてはまる、当時の年号(元号)を答えなさい。

[4]

(3) 下線うについて、次の問いに答えなさい。

- ① 戦国大名が定めた分国法の例として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 寄合があるとき、2度連絡しても参加しないときは50文のぼっきん罰金とする。

イ 許可なしに他国に手紙を出すことは、一切禁止する。

ウ あつく三宝を敬え。三宝とは仏・法・僧なり。

エ 新しく開墾した田は、永久に所有することを認める。

[5]

次ページにつづく▶▶▶

- ② 戦国大名は城の近くに家臣や商工業者を集めた。このようにしてできた町を何というか。

[6]

- ③ このころ見られた下剋上の風潮とはどのようなことか。簡単に説明しなさい。

[7]

- (4) 下線えについて述べた文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 天皇が位をゆずったあとの住まいとして利用された。  
 イ 代表的な阿弥陀堂である。  
 ウ 将軍の別荘として京都の東山に建てられた。  
 エ 世界最古の木造建築物である。

[8]

- (5) 下線おについて、次の問いに答えなさい。

- ① 観阿弥・世阿弥親子が、猿楽や田楽をもとに大成した芸能は何か。

[9]

- ② 室町時代には、和歌の上の句と下の句を、別の人が歌いつなぐ（ ）が流行した。（ ）にあてはまる最も適当な語句を答えなさい。

[10]

2. 右の年表で示した時代の産業の発達について、次の問いに答えなさい。

- (1) この時代に活動していた運送業者の組み合わせとして最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 土倉・馬借    イ 土倉・問（問丸）  
 ウ 馬借・問（問丸）    エ 馬借・酒屋

[11]

年代	できごと
1333 (1334)	建武の新政が始まる。
1336	南北朝の対立が始まる。
1338	足利尊氏が征夷大將軍となる。
1404	足利義満が中国との間で貿易を始める。
1429	琉球王国が成立する。
1467	応仁の乱がおこる。

- (2) この時代の農業について述べた文として不適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 各地に二毛作が広まり、水車などのかんがい設備の利用もふえた。  
 イ 税の負担が重かったため、口分田を捨てて逃亡する農民がいた。  
 ウ 麻やあい、茶などの商品作物の栽培が広まった。  
 エ 草木灰に加え、牛馬などの糞を肥料として用いるようになった。

[12]